

## 創立50周年記念式典事業の記念事業「植樹式」の開催

6月12日（土）創立50周年記念事業の記念事業の一環として「植樹式」を開催しました。参加者に創立50周年記念事業実行委員長の西塔正樹氏をはじめ、副実行委員長の奥村裕太氏、実行委員の山田八重子氏、浜辺フジ子氏にお集まりいただき、教職員と生徒が見守るなか、本校体育館のグランド側の出入り口に校木「アテ」を2本植樹しました。「アテ」は別名「あすなろ」ともよばれ、石川県の県木にもなっている木です。この場所が選ばれたのは、生徒の教室からいつでも見ることができる、将来的にはあるが、体育で疲れた生徒が休める木陰になるという思いからです。実行委員長の西塔氏から最後に「全国から集まった卒業生と生徒のみなさんでアテの成長を見守り、学校を盛り上げよう」との言葉をいただき、式を終えました。

同日、校章の由来を紹介したパネル「羽松たより」のお披露目もされました。このパネルは6月10日（木）、本校の敷地内にある「ふるさとの杜」に設置されました。この杜の完成当時には、これまでの卒業生の出身地の県木を中心に17種250本の木が全国から本校に送られてきたそうです。卒業生のみなさまには本校にお立ち寄りの際にご覧いただければ幸いです。

